

読書感想文紹介

黒い雨の部、特別賞に輝いた作品を紹介します。

「黒い雨」から考える平和

かわかみ ひかる
三和中学校 川上 光

私がこの本を読んだきっかけは、昨年の文化祭で行った劇「平和がいいに決まってる」で黒い雨に打たれて原爆病になった矢須子の役を演じたことです。シナリオも自分で考えなければならなかったのが、参考にするために読みました。

まず初めに驚いたことは、ストーリーが八月六日で終わっていないことです。これまで私が読んだ本は、八月六日の惨劇だけを書いているものが多かったからです。原子爆弾によって傷ついた人々が苦しみながら逃げ惑う姿や、何年もあとになってから放射能による病気に触れる姿などが隅々まで描写されており、原子爆弾による苦しみは計り知れないことを知りました。また、静馬のように、苦しんでいる人を見て辛い思いをしている人もおり、原子爆弾は人の体はもちろん、心まで傷つけてしまうものなんだ、と感じました。

また、原子爆弾が落とされたことは、私の住んでいる地域にも関係のあることなんだ、と強く感じました。静馬や矢須子のように被爆して小島村に帰って来た人や、建物疎開のために広島で作業をしていて原子爆弾の被害を受けた人、親族の安否を確認するため広島へ行き放射能を浴びた人が多くいた、と祖父に教えてもらいました。今まで私は、ここは広島市から遠く離れているのに、なぜ黒い雨の舞台になっているのだろう、と思っていました。この本を読んで、井伏鱒二さんは私のような原子爆弾投下を他人事として考えている人に、戦争や平和について身近に感じてほしくて、この本を書いたのだと思いました。第二次世界大戦や原子爆弾に無関係な場所など、この日本には存在しないことを今さらのように強く感じます。

私が一番印象に残った言葉は「正義の戦争」です。「正義」という言葉は、戦争の上ではただの言い訳に過ぎません。戦争の原因は、双方の意見の対立です。自分の国こそ正しいのだと、正義を主張し、相手国を悪だと決めつけます。しかし、相手国も、自国を正義だと思ひ込み、敵国を悪だと言います。では、どちらの国が正義で、どちらが悪なのでしょう。その答えを出すために争いをします。反対意見をなくしてしまえば、消去法で残った方が正義になると思っています。しかし、私は争いを始めた時点でどちらも正義ではないと思います。力で相手をねじ伏せようとする人の意見は、どんなに筋が通っていても正しいとは思いません。正しいことの言える人は、正しいことと間違っていることの区別がつく人です。「戦争をしてはいけない」という、誰もが知っていることの判断を誤る人の意見は、正義ではないと思います。反対に「不正義の平和」とは、間違っていることを言っているのに、平和という正しいことを行っているのに正しいと思いません。

私たちの学校では、意見の発表をしたあと、「どうですか。」と言って、回りの反応を聞きます。同じ意見の人は、「同じです。」と言い、違う意見の人は、「分かりました。」と答えます。平和のために大切なのは、「分かりました。」と言え、柔軟な心だと思います。自分と違う意見を受け入れ、自分の意見も理解してもらえ。それが、私が考える本当の平和への第一歩だと思います。

*『黒い雨』（井伏 鱒二・著／新潮社・刊）

町立病院からのお知らせ

「消防訓練を行いました」

12月6日（火）、深安消防署安田出張所の協力を得て、消防訓練を行いました。1階の厨房から出火した想定で、職員による消防署への通報や避難経路にそった患者の誘導、消防署員による消火活動や各階の患者救出など緊張感を持って行いました。

訓練後、消防署員の方から、「火災発生においては初期動作が重要であること」「煙を吸うこと、視界をさえぎられることが怖いこと」や「患者を病室から出したらドアをしめ、名札をおろしておくこと分かりやすい」「毛布を使つての救出」など患者を安全・確実に誘導する方法の説明を受けました。

万が一の際、あわてず、落ち着いて行動するためには、日頃からの意識とさまざまな想定での訓練が必要だと感じました。



定住促進事業をご存じですか？

少子高齢化が進む中、町では定住を促進するための各種補助制度を設けています。皆さんぜひご利用ください。



住まいを支援

- ・ 自宅を新築する際に最大 100 万円を補助
- ・ 新築の材料として町有林を無償譲渡
- ・ 新築住宅の固定資産税 1/2 相当額を 5 年間支給
- ・ 自宅を改修する U ターン者や新婚定住者へ最大 50 万円を補助



結婚子育て支援

- ・ 新婚の夫婦へやまなみ商品券 3 万円相当額と仲人さんへはやまなみ商品券 10 万円相当額
- ・ 小学校入学 1 年生の保護者へ第 1 子 10 万円、第 2 子 20 万円、第 3 子以降 30 万円



いずれの補助制度も申請が必要です。詳しくは、まちづくり推進課へお問い合わせください。

お問い合わせ先 まちづくり推進課 ☎89-3332

第7回 神石高原マルシェ 出店者募集！

地産地消をテーマにしたマルシェ(市場)に出店してみませんか？

出店要件

- ①神石高原町産の食材を主に使用した特色のある加工品、料理、菓子、パンなど
- ②こだわり野菜、果物、植物など
- ③フリーマーケット（木工品、手芸品など）

日時

3月24日（土）・25日（日）
午前9時～午後4時【2日間】※一日のみの出店も可

場所

道の駅さんわ 182 ステーション
ブース料についてはお問い合わせください。

締め切り：2月6日（月）

お申し込み・お問い合わせ先：

神石高原マルシェ実行委員会
（まちづくり推進課 ☎89-3332）

バレンタインパーティー

神石高原町ライダールセンターでは、婚活パーティーを開催します。

● 日 時 2月11日（祝・土）午後1時～5時

● 場 所 ルシエル・ザ・パーティ（福山市霞町1-2-31）

● 参加資格 おおむね25歳から45歳までの独身男女

● 参加費 男性 3,500円 女性 2,000円

● 定 員 男性・女性各 20名

● 締 切 1月30日（月）

● お問い合わせ先 神石高原町ライダールセンター事務局

※町ホームページからもお申し込みできます。



前回の婚活パーティーでは6組がカップルに!!